



座間市ゼロカーボンシティ宣言

近年、日本各地において、記録的な猛暑や集中豪雨などによる自然災害が頻発し、私たちの生活に多大なる影響を及ぼす脅威となっています。このような現象は海外でも生じており、世界規模で対策を行わなければならない喫緊の課題でもあります。

令和3年（2021年）8月に発表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）第6次評価報告書では、「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない。」と初めて明記されました。今後、地球温暖化の進行に伴い、猛暑や豪雨などのリスクは一層高まることが予測されており、こうしたリスクを低減させるために、私たち一人ひとりが当事者としての危機感を持つことが重要です。

座間市は令和3年（2021年）に市制施行50周年を迎えました。これから先の50年は、地球温暖化という課題にこれまで以上に向き合い、豊富な地下水に代表されるような本市のかけがえのない自然を後世に受け継ぐため、持続可能な社会の実現に向けて取り組んで行かなければなりません。

この意義ある目的の達成のため、「2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ」を目指し、市民・団体・事業者と協働して地球温暖化対策の取り組みを進めていくことを、ここに宣言します。



令和4年（2022年）2月14日

座間市長 佐藤 弘斗